

人生いろいろまた。徐中

4階の玖島慶子様は学校の教師でした



私は40年間、中学校の教師をしていました。

その後すぐに広島市役所の人権啓発指導員として、保育園・幼稚園・小中学校・高校・大学の先生など、その他多くの企業の人権啓発の仕事をして 20 年。計 60 年間働きました。

人権学習については、私が特に優れていたわけではありません。それは多くの中学生と生活を共にする中で、子どもから沢山の事を学び、その実践を中心に話したのです。

たばこを吸ったり、授業を抜けたりする子供をクラスの一人として位置付ける為に多くの事をやりました。 クラスで休日にキャンプに行ったり、放課後にクラスのみんなでソフトボールをして遊んだり、

たくさんの行事をしながら、その中で一人一人の子供の良さをみんなで知るようになりました。

子供はクラスの一人として認められると、自然にクラスに馴染んでいきます。

各教科ごとの先生たちと話し合い、一人一人の良い所を褒めて伸ばす環境を作ったり、

つまづきのある子供には学力に合わせた授業をしたりしました。

いろんな子供たちと接してきた中で、一人一人の子供の良さを知ることができました。

この仕事で学んだことは

①人を認める事の大切さ ②他人の立場に立って物事を考える大切さ ③人と人をつなぐ事の大切さ

私が(人にやってもらう立場)になった現在、その学びをもう一度考えていきたいこの頃です。

初めて しました

初めて体験された、想い出の出来事を皆様にお伺いしました。

谷岡様:初めての遠い旅行といえば、北海道ですね。

娘が高校に入った頃に娘と二人で、そしてその次に主人と二人で行きました。

湖や火山、知床に行き、網走の刑務所へも観光で行きました。

思い出は、当時住んでいた三次から、朝早くに主人と車で広島空港(当時は広島市観音町)まで行く道中、夏で暑いのですが昔の車だから暖房はあっても冷房がついてないので、

『冷房付き』と主人が車にステッカーを貼って自慢しているのが面白かったです。

A様:美容師をやっていて、自分の店を持ってから初めてのお客さんは覚えてるわよ。 そのお客さんは喜んでくれてたけど、実際には上手くいかなかった所もあって納得いく出来では なかったから…美容師を続けてる時にはそんな思いをしないように一生懸命頑張ったのを覚えてるわ。

S様:初めてのことばっかりだったのは子供と二人暮らしを始めた時でした。

仕事もしながら家事をしないといけなかったのでがむしゃらに頑張っていたよ。

大変な事ばっかりだったけど子供はしっかりとした大学に入ってくれたし、今も真面目に働いてくれていて 今になってはこれもいい思い出だったなぁ、と考える事があります。

F様:21歳の頃友達6人と宇品港からフェリーに乗り、別府に行きました。

旅館に2泊して、地獄巡りなど街中を観光しました。独身最後の旅行となり、良い思い出となりました。

T様:小学校6年生の時に柳井から岩国に日帰り旅行をしました。錦帯橋を渡り吉香公園に行きましたが、 白蛇資料館は気持ちが悪いので入りませんでした。